

令和4年度 第1回鶴岡市文化会館運営委員会

日 時 令和4年10月27日(木)

午後2時00分～

会 場 櫛引庁舎1階第一会議室

————— 次 第 —————

1 開 会

2 挨 拶

3 協 議

(1) 令和4年度事業報告について 資料1

(2) 令和5年度事業計画(案)について 資料2

(3) その他

4 そ の 他

5 閉 会

鶴岡市文化会館運営委員会 委員名簿

■運営委員会委員

No.	氏名	分野	備考
1	草加 叔也	有識者（アドバイザー）	会長 文化会館運営実施計画
2	太下 義之	有識者（アドバイザー）	副会長 文化芸術推進基本計画
3	三浦 正信	鶴岡青年会議所	若者団体
4	伊藤 博	地元金融機関	ネーミングライツパートナー
5	門脇 望	利用者（声楽）	市民サポーターアーティスト部門
6	伊藤 豊継	利用団体代表（ダンス）	芸文協非加盟団体
7	渡部 真喜	鑑賞者	市民サポーター公演サポート部門
8	兼子 由香	庄内地区高等学校文化連盟会長	鶴岡中央高等学校 校長
9	齋藤 範夫	鶴岡市中学校長会	鶴岡第三中学校 校長

■事務局

○指定管理者（タクトつるおか共同企業体）

	氏名	職名	備考
1	有地 裕之	鶴岡市開発公社 常務理事	
2	押切 良輔	鶴岡市開発公社 参事	
3	榊原 賢一	鶴岡市芸術文化協会 事務局長	
4	佐藤 潤到	鶴岡市文化会館 事務長	
5	軍司 愛	鶴岡市文化会館 チーフマネージャー	

○教育委員会

	氏名	職名	備考
1	布川 敦	教育長	
2	本間 明	教育部長	
3	沼沢 紀恵	社会教育課長	
4	石川 誠	社会教育課芸術文化主査	
5	渡邊 雅之	社会教育課芸術文化係	

鶴岡市文化会館運営委員会設置要綱

(設置)

第1条 市長は、鶴岡市文化会館の運営について評価、企画、助言等を行うため、鶴岡市文化会館運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(組織)

第2条 委員会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識経験のある者の中から市長が委嘱し、又は任命する。

(委員の任期)

第3条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 委員会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は、会長が招集し、会議の議長となる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会社会教育課において処理する。

(その他)

第7条 この訓令に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この訓令は、令和3年4月1日から施行する。

(任期の特例)

2 この訓令の施行の日以後、最初に第2条第2項の規定により委嘱し又は任命される委員の任期は、第3条の規定にかかわらず、委嘱された日から令和5年3月31日までとする。

目次

1. 年度概要(4月1日～9月30日)	
(1) 貸館運営実績	3
(2) 施設利用率及び稼働率	3
(3) 各種使用料の収納状況	3
(4) 年間利用状況<使用者別>	3
(5) 年間利用状況<催事別>	3
(6) 利用件数の推移	4
(7) 利用者数の推移	4
(8) 稼働率の推移	4
(9) 納期限変更の適用件数	4
(10) 使用料減免の適用件数	4
2. 事業内容	
(1) 鑑賞事業<6件>	
① 劇団四季ミュージカル『ロボット・イン・ザ・ガーデン』(自主)	5
② 酒井家庄内入部 400 年記念 宝生流能楽公演 祝賀能公演(共催)	6
③ 酒井家庄内入部 400 年記念 宝生流能楽公演 鑑賞能(共催)	7
④ Noism×鼓童『鬼』(自主)	8
⑤ 工藤静香 35th Anniversary tour 2022～感受～(自主)	9
⑥ 夏川りみ コンサート 2022～たびぐる～(共催)	10
(2) 育成事業<3件>	
① お囃子体験ワークショップ、狂言・能体験	11
② 「んまつーぽす」ダンスワークショップ・アウトリーチ	13
③ 『タクトでおじゃま』セレノグラフィカ・ダンスアウトリーチ	17
(3) 参加・体験事業<3件>	
① Noism メンバーによる大人と子供のためのからだワークショップ	19
② 第3回「タクト探検隊♪舞台のおしごと」	20
③ 小林紀子バレエ・シアター ワークショップ	22
(4) 地域発信事業<3件>	
① 音楽のタバ～あなたとクラゲと音楽と～	23
② 「TACT 市民アーティストガチャ」第5弾	24
③ TACT でもオールナイトカモスイ	25
(5) 交流・にぎわい創出事業<3件>	
① ロビーコンサート vol.2 カノン春が来たコンサート	26
② タクト1day シネマ『20歳のソウル』関係者試写会	27
③ タクトライトアップ	28

(6)その他事業<<6件>>	
①Noism×鼓童『鬼』記者会見(中継).....	29
②劇団四季ミュージカル『ロボット・イン・ザ・ガーデン』合同取材会.....	30
③令和4年フロントスタッフ研修会.....	31
④令和4年度全国公立文化協会定時総会・研究大会.....	32
⑤小林紀子バレエ・シアター意見交換会.....	33
⑥フリースペース閉館時間のお知らせBGM.....	34
(7)今後の予定.....	35

【壮観タクト鶴岡】 2022 年度 貸館等運営統計 (年間：自主事業を含む)

■貸館等運営実績

総 数		150 (184) 件	※1
内訳	市内利用者	125 (156) 件	
	市外利用者	25 (28) 件	
本番利用		82 (115) 件	
内訳	市内利用者	59 (89) 件	
	市外利用者	23 (26) 件	
練習利用		68 (69) 件	
用途	通常利用	60 (61) 件	
	簡易利用	8 (8) 件	
内訳	市内利用者	66 (67) 件	
	通常利用	58 (59) 件	
	簡易利用	8 (8) 件	
内訳	市内利用者	2 (2) 件	
	通常利用	2 (2) 件	
	簡易利用	0 (0) 件	
納期限変更		27 件	
減免適用		47 件	
日 数	開館実日数	181 日	※2
	稼働日の合計日数	135 日	
利用者数	総 数	24,185 人	
	スタッフ 入場者	5,827 人 18,358 人	

■各種使用料の収納状況

施設使用料 【合計】	算定額	7,430,542 円	※3
	減免額等	4,466,964 円	
	内訳	4,466,964 円	
	減免 (併用)	0 円	
	無料 (併用)	0 円	
端数調整額	26 円		
歳入額	2,963,604 円		
施設使用料	算定額	7,363,810 円	※3
	減免額等	4,454,606 円	
	内訳	4,454,606 円	
	減免 (併用)	0 円	
	無料 (併用)	0 円	
端数調整額	2,909,204 円		
駐車場等使用料	算定額	66,732 円	※3
	減免額等	12,358 円	
	内訳	12,358 円	
	減免 (併用)	0 円	
	無料 (併用)	0 円	
端数調整額	26 円		
歳入額	54,400 円		

■施設利用率および稼働率

利用率		101.66 %	※4
内訳	市内利用者	86.19 %	
	市外利用者	15.47 %	
稼働率		74.59 %	※5
大ホール		42.77 %	
小ホール		28.90 %	
練習室		28.21 %	
内訳	練習室1	27.68 %	
	練習室2	28.73 %	
楽屋		21.64 %	
【施設別】	楽屋1	21.55 %	
	楽屋2	26.52 %	
	楽屋3	20.44 %	
	楽屋4	19.34 %	
	楽屋5	22.10 %	
	楽屋6	19.89 %	
会議室		27.07 %	
内訳	会議室1	28.18 %	
	会議室2	25.97 %	
記号室		7.73 %	
駐車場等		18.78 %	

■年間利用状況 (使用者別)

使用者分類	件数
指定管理者	12 件
行政関係 (市内)	4 件
行政関係 (市外)	1 件
学校関係 (市内)	26 件
学校関係 (市外)	1 件
市民団体	9 件
一般団体 (興行主を含む)	72 件
個人利用	24 件
その他	1 件
合計	150 件

■年間利用状況 (催事別)

催事分類	件数
吹奏楽	17 件
合唱	21 件
ポピュラー	2 件
演歌・歌謡曲	2 件
クラシック	7 件
ジャズ	6 件
舞踊 (バレエ・ダンス等)	15 件
伝統芸能 (能楽・詩吟等)	1 件
演劇	3 件
映画	1 件
講演・式典等	8 件
会議等	20 件
展示	2 件
市民行事	0 件
学校関係行事	1 件
幼児・親子向け行事	1 件
大会 (コンテスト)	0 件
企画イベント	4 件
その他	39 件
合計	150 件

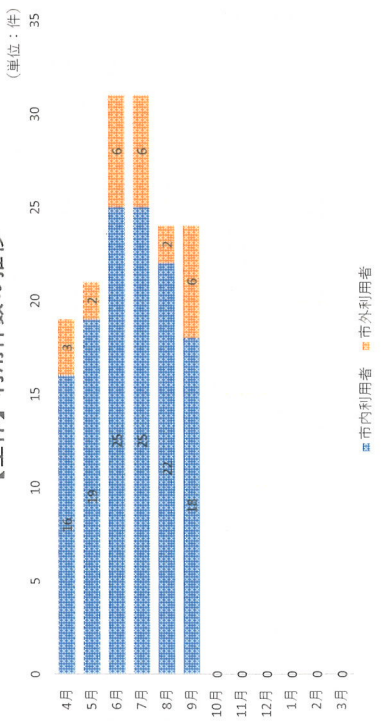
※1：左側の数値は「催事単位で見えた場合の件数」、右側の利用は「1日当たりの利用件数 (同一日 (括弧内) の数値はそれぞれ計上)」を表している
 ※2：年末年始6日間に加えて、臨時休館日および保守点検等による貸出不可日を除いた日数
 ※3：歳入額には見込み額を含む
 ※4：利用率 = (件数 ÷ 開館実日数) × 100
 ※5：稼働率 = (稼働日の合計日数 ÷ 開館実日数) × 100

【荘園タクト顧問】 2022 年度 貸館等運営統計 [グラフ] (年間：自主事業を含む)

■利用者数の推移

対象月	総数	市内利用者	市外利用者
4月	19	16	3
5月	21	19	2
6月	31	25	6
7月	31	25	6
8月	24	22	2
9月	24	18	6
10月	0	0	0
11月	0	0	0
12月	0	0	0
1月	0	0	0
2月	0	0	0
3月	0	0	0
合計	150	125	25

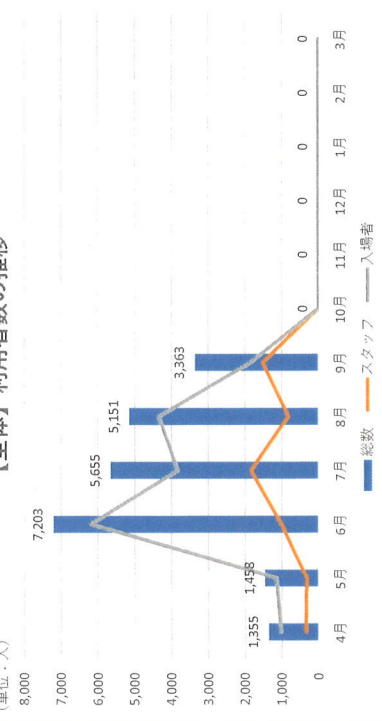
【全体】利用件数の推移



■利用者数の推移

対象月	総数	スタッフ	入場者
4月	1,355	337	1,018
5月	1,458	318	1,140
6月	7,203	1,007	6,196
7月	5,655	1,834	3,821
8月	5,151	816	4,335
9月	3,363	1,515	1,848
10月	0	0	0
11月	0	0	0
12月	0	0	0
1月	0	0	0
2月	0	0	0
3月	0	0	0
合計	24,185	5,827	18,358

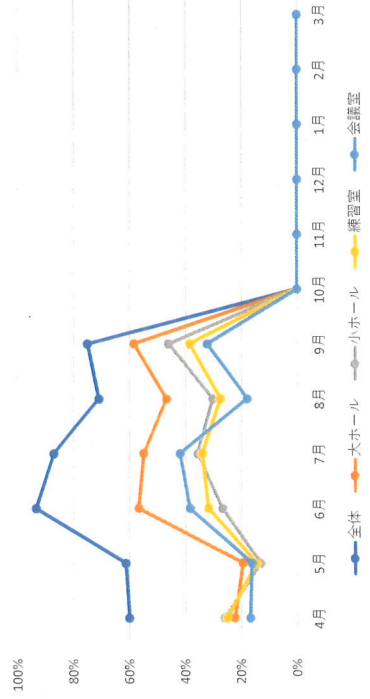
【全体】利用者数の推移



■稼働率の推移

対象月	全体	大ホール	小ホール	練習室	会議室
4月	60.00%	22.22%	25.93%	25.00%	16.67%
5月	61.29%	19.35%	12.90%	14.52%	16.13%
6月	93.33%	56.67%	26.67%	31.67%	38.33%
7月	87.10%	54.84%	35.48%	33.87%	41.94%
8月	70.97%	46.67%	30.00%	27.42%	17.74%
9月	75.00%	58.33%	45.83%	38.46%	32.14%
10月	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
11月	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
12月	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
1月	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
2月	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
3月	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【全体】稼働率の推移



■月別：納期限変更の適用件数 (単位：件)

対象月	適用件数	内訳				
		指定管理者	行政関係	教育組織	部活動等	その他
4月	1	0	0	0	0	1
5月	2	0	1	0	0	1
6月	6	0	0	3	2	1
7月	9	0	1	1	5	2
8月	6	0	0	2	2	2
9月	3	0	0	0	2	1
10月	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0
合計	27	0	2	6	11	8

■月別：使用料免除の適用件数 (単位：件)

対象月	適用件数	内訳				
		指定管理者	市民団体関係	学校関係	行政関係	その他
4月	6	3	0	0	1	1
5月	3	2	0	1	0	0
6月	10	2	0	7	0	1
7月	10	2	0	6	0	2
8月	9	3	0	3	0	3
9月	9	4	2	3	0	0
10月	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0
合計	47	16	2	21	1	7

劇団四季ミュージカル『ロボット・イン・ザ・ガーデン』 報告書

- 主 催 荘銀タクト鶴岡・鶴岡市教育委員会
- 公演日時 2022年6月11日(土) 17:45開場 18:30開演
- 出演 劇団四季
- 公演会場 荘銀タクト鶴岡 大ホール
- チケット料金 [一般] S席9,900円 A席6,600円 B席3,300円
[学生] A席3,300円 B席1,650円(25歳以下)
- 入場者数 954名(チケット販売枚数:985枚)

■お客様の感想(抜粋)

タング生きてました！動き素晴らしくて、セリフがあんなにクリアにきこえて！こんな素敵な非日常ありがとうございます！こんなに心を動かして頂いてありがとうございます！／私は夏からアメリカに留学する予定で、現地でミュージカルをする予定なの予習もかねて見に来ました。今日の公演を見てとても感動しました。自分も将来人に感動を与えられる仕事に就きたいです。／鶴岡で劇団四季をよべることで、新しい文化が動くような気がします。それを受け入れることができるタクトの施設設備、スタッフの対応、ありがたく思います。／コロナということもあり、県外などには出かけられず、鶴岡で観れたのはとてもうれしいです。ぜひまたよろしくをお願いします！

■事業の成果

これまで完売となってきた劇団四季だが、今回は販売に苦勞した。その要因として考えられるのは、新しい作品であることから作品自体の知名度に欠けたことが挙げられるが、公演直前に貸館事業で開催された高校の定期演奏会でのチラシの折り込み、団券の配布などで販売数を伸ばすことができ、結果的には昨年の公演『劇団四季 The Bridge～歌の架け橋～』の着券数969(販売数990)とほぼ差なく、集客を実現することができた。カーテンコールでのお客様の歓声とスタンディングオベーションは劇団四季の変わらぬ質の高い演出と底力を実感し、改めて今年も開催することができた喜びを感じた。

■事業の課題

開館から5年経ち、これまで即完していた人気公演も売れ行きが芳しくない状況になっていくことが予想される。今回、鶴岡市工業団地管理組合(23枚)、庄交コーポレーション(3枚)、永寿荘(17枚)、鶴岡地区医師会(7枚)【計50枚】に団券を販売することとなったが、今後は、鶴岡の企業や文化芸術に興味のありそうな団体へ向けた団券を想定した販売計画を練る必要があると感じた。

酒井家庄内入部 400 年記念 宝生流能楽公演 祝賀能公演 報告書

- 主 催 公益財団法人 庄内能楽館
- 共 催 荘銀タクト鶴岡・鶴岡市教育委員会
- 公 演 日 時 2022 年 6 月 14 日(火) 17:45 開場 18:30 開演
- 公 演 会 場 荘銀タクト鶴岡 大ホール
- チケット料金 SS 席 12,000 円/S 席 10,000 円/A 席 8,000 円 (学生 4,000 円)
B 席 5,000 円 (学生 2,500 円) /C 席 3,000 円 (学生 1,500 円)
- 入 場 者 数 829 名

■所 感

事前に当日のスタッフ配置案をお送りし、必要な人員について知らせていたが当日になって実働できる人手が足りないことが発覚し、急遽タクト職員が客席案内を行うこととなった。市民サポーターも少ない人数の中、臨機応変に対応し、何とか事故もなく終演することができた。今回は主催者側が運営に不慣れなため、当日のお客さま案内など混乱をきたしてしまった。本来ならば主催者側に当日運営を任せているが、事前に表回りや客席案内の運営について綿密な打ち合わせを行う必要があったと反省した。

■事業の成果

人間国宝の野村万作氏、大倉源次郎氏をはじめ野村萬斎氏、亀井広忠氏など能楽界を代表する豪華な方々にお越しいただき、市民の皆さまが質の高い伝統芸能を鑑賞することができた大変貴重な機会となった。

■事業の課題

プロモーターではない一般団体との共催であったため、主催者が公演運営に不慣れということもあり何度も打合せを重ね当日に向け準備をしてきたが、実際の当日運営が主催者内部でも共有できていない部分が多くありスタッフ間でも混乱してしまった。公演運営に不慣れな団体との共催の場合は、当日の運営についても細かな打ち合わせが必要であると感じた。

酒井家庄内入部 400 年記念 宝生流能楽公演 鑑賞能 報告書

- 主 催 公益財団法人 庄内能楽館
- 共 催 荘銀タクト鶴岡・鶴岡市教育委員会
- 公 演 日 時 2022年6月15日(火) 12:15 開場 14:20 開演
- 公 演 会 場 荘銀タクト鶴岡 大ホール
- チケット料金 一般 5,000 円 (学生 2,500 円) ※中学生以下無料
- 入 場 者 数 450 名 (小学生 282 名、一般 168 名)

■所 感

お客様が少なかったため、鑑賞能の運営の方は落ち着いていた。事前に野村萬斎氏や辰巳満次郎氏が子どもたちに演目の解説してくれたこともあり、狂言「附子」では笑いが起きたり、能「土蜘蛛」では物語の展開を真剣に鑑賞している様子だった。

■事業の成果

前日の祝賀能とは違う演目、かつほとんどのお客様が前方の席で鑑賞することができ喜んでいただいていた。子どもたちにとっても、ワークショップに引き続き名だたる講師の方々の演技を生で鑑賞することができ、有意義な時間となったと思う。

■事業の課題

祝賀能のチケットの売れ行きは良かったが、平日の昼公演ということもあってか、鑑賞能のチケットがほとんど売れなかった。広報の仕方が祝賀能メインの情報となってしまう鑑賞能の周知が不十分だったのと、出演者、演目に対しチケット価格が安価なため、事前申込みでほとんど売れると見込んでいたが読みが外れてしまい、その後の一般販売でも苦労した。主催者と協力し情報交換しながら、もう少し周知や販促を行なったら良かったと感じた。

Noism×鼓童『鬼』 報告書

- 主 催 荘銀タクト鶴岡・鶴岡市教育委員会
- 共同製作 りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館、ロームシアター京都、愛知県芸術劇場、荘銀タクト鶴岡
- 助 成 一般財団法人地域創造（地域の文化・芸術活動助成事業 連携プログラム）
- 公演日時 2022年7月30日(土) 15:30開場 16:00開演
- 出演 Noism Company Niigata、太鼓芸能集団 鼓童
- 公演会場 荘銀タクト鶴岡 大ホール
- チケット料金 一般5,000円、学生2,000円、一般訳あり2,000円、学生訳あり1,000円
- 入場者数 568名(一般461名、学生34名、一般訳あり64名、学生訳あり4名、招待5名)

■お客様の感想(抜粋)

大いに期待を裏切られました。世界にも通じるような舞台を久しぶりに観ることができ心がうずうずしました。鍛えられた体から出るエネルギー、吐息で進む演舞、息の合った鼓童の多種多様な打楽器、本当に素晴らしかったです。／鼓童を楽しみにして来た身としてはちょっと残念な公演でした。鼓童だけの時間がほしかった。

■事業の成果

公演の1カ月前にはチケットが完売するなど、注目度の高さが伺えた。見切れ席を開放しての追加販売でも多くの方にお買い求めいただいた。首都圏ではなく地方都市の新潟を拠点に活動を続けるNoism Company Niigataと太鼓芸能集団 鼓童の初共演は、トップレベルの団体同士だからこそ実現される芸術性の高い舞台芸術を創りだし、観客に大きな衝撃を与えていたようだった。

■事業の課題

お客様の感想で「分からなかった」という声が多く聞かれた。どの会場でもアフタートークは実施していなかったが、当館独自企画としてでも公演前に既に公演が終わったホール担当者(愛知県芸術劇場の唐津氏など)の事前セミナー・プレトークを実施するなど、より多くの方に楽しんで観ていただくための仕掛けの必要性を強く感じた。

工藤静香 35th Anniversary Tour 2022～感受～ 報告書

■主催 荘銀タクト鶴岡・鶴岡市教育委員会

■公演日時 2022年8月28日(日) 16:00開場 17:00開演

■出演 工藤静香

■公演会場 荘銀タクト鶴岡 大ホール

■チケット料金 7,500円

■入場者数 1040名(チケット発売枚数:1062枚)

■お客様の感想(抜粋)

コロナ禍の中、なかなかプロのコンサートを観る機会も少なくなったため、とても充実した時間でした。/1度中止になったので、今日をととても楽しみにしていました。楽しかったです。/もっと細かく退場させてほしい。移動させる人数が多すぎて結局密になってしまっている。

■事業の成果

2年前の公演が中止となり心待ちにしている方が多く、市民先行では1000枚を超える応募があり、一般販売も窓口・ネット・プレイガイド含め約15分で完売と反響が大きかった。しばらくの間大きいJ-POP公演を実施できていなかったためようやく市民の方に楽しんでいただくことができた。

■事業の課題

今回の公演は1000名を超えるお客様がいらっしゃり、規制退場も行ったが、エントランスでの物販が通常より広いスペースを占めていたことにより混雑してしまっていた。お客様からも退場のブロックをより細かく分けたほうがいいのではないかとのご意見もいただいていたため、1000名を超える公演では規制退場のやり方を変える必要があると感じた。

夏川りみ コンサートツアー2022 ～たびぐる～ 報告書

- 主 催 山形新聞／山形放送／クールマイน์
- 公 演 日 時 2022年9月11日(日) 14:30 開場 15:00 開演
- 公 演 会 場 荘銀タクト鶴岡 大ホール
- チケッ ト 料 金 全席指定 一般 6,800 円 小中学生 2,000 円
- 入 場 者 数 540人 【スタッフ数】29人

■所感

開場前は、もぎり場所が一か所で物販もあったため、多くの人で少々混雑したが、アルバイトスタッフのお客様への細かな声掛けと配慮により、混乱なく入場できていた。また上演中は、歌声に酔いしれる観客の姿から、純粋に歌が好きの方が鑑賞者に多かったのではないかという印象を受けた。

■事業の成果

ポップス系の公演はどれも大変盛況で、今回の公演も客席の様子からお客様が心から喜んでいることがうかがえた。完売には至らなかったが市民の期待に応える公演が開催できたのではないと思う。また、当日は鑑賞者の感激する様子がりみさん本人にも伝わったようで「非常にいい公演だった、本人も満足していた」と裏方スタッフから御礼の言葉をいただくことができた。そして主催側（クールマイน์）のスムーズな運営により、開場前から公演終了まで混乱なく終えることができた。

■事業の課題

チケット販売に苦戦したが、主催者側にチラシを多めにいただき、当館の貸館事業や自主公演での折り込みで少しずつ販売数を伸ばし、なんとか 500 枚以上販売することができた。今後の共催公演でもできる限り販売促進につながるような告知を模索し、集客に務めたい。また、当館のスタッフが当日運営に関わらない共催公演では、普段使いなれない主催側が運営するため、客入れ時（開場前）のもぎり位置の設定場所の違いで大勢が滞留してしまう可能性があることを細かに説明、説得し綿密に相談する必要があると感じた。

酒井家庄内入部 400 年記念 宝生流能楽公演
お囃子体験ワークショップ、狂言・能体験 報告書

- 主 催 公益財団法人 庄内能楽館
- 共 催 荘銀タクト鶴岡・鶴岡市教育委員会
- 日 時 2022 年 6 月 15 日(水)
〈1 部〉お囃子体験ワークショップ 9:15 開場 10:00 開始
〈2 部〉狂言・能体験 12:15 開場 12:50 開始
- 場 所 大ホール、小ホール、会議室、エントランス
- 内 容 お囃子体験ワークショップ：太鼓・大鼓・小鼓・笛の能楽器体験
狂言・能体験：狂言と能の所作体験
- 講 師 大倉源次郎、野村萬斎 ほか
- 参 加 料 金 お囃子体験ワークショップ 参加費 1,000 円
狂言・能体験&鑑賞能 一般 5,000 円 (学生 2,500 円) ※中学生以下無料
※狂言・能体験料は鑑賞能チケット料金に含まれる。
- 参 加 者 数 〈お囃子体験ワークショップ〉
小学生 149 名 (三小、豊浦小、湯野浜小、東栄小) / 一般 6 名 計 155 名
〈狂言・能体験〉
小学生 266 名 (一小、三小、豊浦小、湯野浜小、東栄小、大泉小)
一般 19 名 計 285 名

■所感

ワークショップを 4 か所で行い、時間も限られているための確な指示と誘導が必要となる。主催者側だけでは不安だったため、急遽職員も誘導サポートを行った。体験人数が多いため、少ない時間での体験となった。もう少し人数を減らしじっくり体験ができるといいと感じた。

■事業の成果

子どもたちが日本を代表する能楽師に直接指導してもらうことのできた大変貴重な機会となった。実際に能楽器に触れ、能楽の所作を体験することで、普段馴染みのない音楽や普段使わない体の動きを間近で感じ、豊かな感性や新しい価値観の育みに貢献することができたと思う。また、この体験を通し地元の伝統芸能にも少しでも関心を寄せてくれることを願っている。

■事業の課題

大ホールでは所作台を敷き実施した。所作台は本来、素手で触れてはいけないものとなっているが、素手で触れたり半ズボンの子どもの足が直接触れてしまった。服装については、子どもの肌が触れないように「長ズボン」と指定すればよかったと反省した。所作台の使用の仕方については主催者側と能楽師側での共有ができていなかった点もあったのではないと思うが、こちらでも担当の能楽師と所作台の使用の仕方について改めて話す必要があったと感じた。

〈お囃子体験ワークショップ〉

〈狂言・能体験〉

【荘銀タクト鶴岡】Dance!Dance!TACT!

「んまつーぽス」ダンスワークショップ・アウトリーチ事業報告書

① 「んまつーぽス」のダンスワークショップ

—ダンスの美術館—『カラダがよろこぶ美術館』シリーズ(KIDS DESIGN AWARD 2018)

- 日時 7/10(日)16:30~18:30
- 実施場所 荘銀タクト鶴岡、鶴岡アートフォーラム
- 参加者 16名(子供8名 大人8名)

当初は小学生を対象に参加者の募集を募ったが、定員に満たなかったため直前で親子参加に切り替え実施した。初めにタクトの会議室でダンスのための衣装制作を、東京の中学校の図画工作の先生からZoomで指導を受けながら行った。参加者が持ち寄った白いワイシャツに、絵を描いたりハサミで切ったりして、それぞれ思い思いにカラフルな衣装を制作した。出来上がった衣装を着てアートフォーラムへ移動。不思議な衣装を纏った集団の大移動は仮装行列のようで、パフォーマンスの一つとして本ワークショップ事業のアピールにもなったように思う。

アートフォーラムへ移動後、開催中の常設展示【第2期「光を描くには」】を鑑賞し、作者(既に他界されている)になりきって、ゾンビダンスを子供チームと大人チームに分かれて創作した。アートフォーラムという美術館の要素を大いに生かしたダンス創作活動となり、大人チームも一心不乱に制作、ダンスをしている姿は子供達にもとても魅力的に映ったようで、皆終始生き生きとした表情だったのが印象的だった。

《アンケート抜粋》

時間制限ある中で作る集中力はみんなすごかったです。みんなで汗をかいて考えて動くこと。それだけでとても幸せになれると感じました。／ダンスの振り付けがこんな風に作られているというのを体験できてとても楽しかったです。子どもたちもものすごく楽しそうでした。大人も真剣に考えていてとてもいい時間を過ごせました。2時間という時間全部楽しめました。

② ファシリテート講座

- 日時 7/11(月)14:00~16:30
- 実施場所 荘銀タクト鶴岡 会議室
- 参加者 15名(んまつーポス側6名+いわきアリオス事業課長 矢吹修一氏+タクト事業担当6名+市民サポーターアーティスト部門より菊地将晃さん、石原玉美さん)

「地元のアーティストをアウトリーチ事業の講師として育成するには」「学校へのアウトリーチ事業を円滑に実施していくには」「アウトリーチの講師として必要な力」「劇場ホールがアウトリーチ事業を実施するうえで重要なこと」等について講義していただいた。んまつーポスが長年実施してきたいわきアリオスでのアウトリーチ事業『おでかけアリオス』は、3.11震災を機にできるだけ多くの子供たちに元気を届けようという目的が学校側と合致し、いわき市の学校ほぼ全域で実施展開している。学校での実施は、先生との密な連絡体制と、とにかく信頼関係を築くことがアウトリーチ事業継続の実現には必要不可欠ということがわかった。また、アウトリーチは収入源がない事業のため、外部講師の招聘には文化庁助成金などを活用していくことが必須であり、そのノウハウについても勉強する良い機会となった。

③ 湯野浜小学校アウトリーチ

- 日時 7/11(月)①9:35~10:20 ②10:40~11:25
- 実施場所 湯野浜小学校体育館
- 参加者 ①4年生 18名 ②6年生 23名

4年生 プログラム「Beautiful Newspaper」 デザイン:高橋るみ子&んまつーポス

「しんぶんし」を活用したワークショップ。音楽に合わせて折ったり、広げたり、細かく切り裂いたり、勢いよく切り裂いたりして、ものと対等する動きのワークショップ。変幻自在な新聞紙というものを使うことで動きに強弱が生まれる。最後はクラシック音楽に合わせて優雅なダンス作品が完成した。

6年生 プログラム「い・ろ・は・す」 デザイン:高橋るみ子&んまつーポス

初めは、2人組の1人がペットボトルを自由に動かしてそのペットボトルの動きを真似るというもの。人間ではありえない動きをなんとか真似ようと、頭と体を使って柔軟体操。準備運動が終わったら、みんなでスポーツの動きを取り入れたスندا(ダンス)の時間。高く高くジャンプするワークでは、解放されていくような生徒たちのはじける笑顔に、先生方も笑顔で応えていた。

③ 大泉小学校アウトリーチ

- 日時 7/12(火)①9:35~10:20 ②10:40~11:25
- 実施場所 大泉小学校体育館
- 参加者 ①3、4年生 39名 ②1、2年生 46名

3、4年生 プログラム「Beautiful Newspaper」 デザイン:高橋るみ子&んまつーポス

湯野浜小学校4年生と同プログラムを実施。人数が倍近く増え、新聞紙の音も BGM となって華やかさが増したダンス披露となった。いわきアリオスの矢吹氏も見学に訪れ、矢吹氏自ら先生方へ新聞紙を配る等してくださった。周りを巻き込んで一緒に実施するという感覚を大人にも持っていただけるように、積極的に行動していくことの大切さを教えていただいた。

1、2年生 プログラム「ウマジロウ！」 デザイン:高橋るみ子&んまつーポス

Eテレの「走れ！ウマジロウ」を子供達とんまつーポスが振り付けをしてダンスを発表。3チームに分かれた子供達の各チームに、んまつーポスが1人ずつサポートにつき、曲の節々でチームごとにテンポよく交代でダンスを披露。みんなが知っている曲なので馴染みがあるのか、ハイテンションで元気いっぱいのダンスが完成。見学していた校長先生からは「一曲通して踊れることにびっくりした！」と驚きと感激の感想を述べていただいた。先生方からは「ゼロから自分たで創って形にするという作業は自信につながる」「普段そこまで動けない子が動けていた！」等の感想をいただいた。

■事業の成果

昨年に引き続き、んまつーポスによるワークショップを実施できてよかった。「んまつーポス」のアウトリーチの素晴らしいところは、学校の雰囲気、先生方の話し方、出逢った瞬間に感じた生徒の個性を見分けて、その日のワークショップをどのように進めたら良いか、3人がどのチームに入るとスムーズにいくか等を見極め、3人がアイコンタクトで動き始めるというところである。これは、長年連れ添ったチームで日々研究を重ねるなかで見出された手法なのではないかと思う。また、子供のための劇場を備えた保育園の経営、学校を中心にアウトリーチを続けているということから、「んまつーポス」というカンパニーのコンセプトは「子供の未来」であるといえる。子供のことを本気で考えているからこそ、長年実現できているものなのではないかと考える。「生徒（子供）一人一人に向き合うためのワークショップ」さらには「学校側が求める子供達につけさせたい力」について考え抜かれたワークショップは、まさに次代を担う子供達へ向けたワークショップとして実施する意味のあるものだと感じている。

■事業の課題

今年は、昨年の講師メンバー4名にカメラマンと研修生の2名が増えて、6名が来鶴となった。昨年はいわきアリオスとの連携で交通費を折半していたが、先方の都合により復路の経路が2手に分かれることになったり、2名追加により現地での移動手段の手配が大変だったりとこちら側に少々負担がかかってしまった。宮崎というかなり遠方からの招聘で旅費が高額になること、またアウトリーチが収入源のない事業であることから、今後の継続の為には「んまつーポス」がタクトのアウトリーチに必要な強い理由が必要になってくる。しかしながら、アウトリーチは勿論のこと、衣装を創るワークショップも好評だったことから、美術館とも連携したワークショップを展開している「んまつーポス」とは、今後も鶴岡の中心に立地するタクトとアートフォーラムの連携事業を発展させ、鶴岡の芸術文化を盛り上げる事業として実施できる可能性があるのではないかとと思われるので、今後は助成金を活用し、継続できるよう努力したい。

『タクトでおじゃま』 セレノグラフィカ・ダンスアウトリーチ 報告書

- 主 催 荘銀タクト鶴岡・鶴岡市教育委員会
- 助 成 公益財団法人山形県生涯学習文化財団(令和 4 年度地域生涯学習事業)
- 講 師 セレノグラフィカ
- アシスタント 菊地将晃氏、石原玉美氏(9/28 のみ)
- 実施期間 2022 年 9 月 28 日(水)～29 日(木)
- 実施場所 羽黒小学校、三瀬保育園
- 実施人数 総勢 80 名

【実施詳細】

- ①羽黒小学校 9/28(水) 10:40～12:15(90 分) 4 年生 31 名
- ②三瀬保育園 9/28(水) 14:30～15:15(45 分) 年長 11 名
- ③羽黒小学校 9/29(木) 10:40～12:15(90 分) 6 年生 38 名

■所感

セレノグラフィカのお 2 人を招いてのアウトリーチは今年で 4 年目となった。大きな変化点として今回より現地アシスタントとして鶴岡で活動しているダンサー(菊地将晃氏、石原玉美氏)を加えてのアウトリーチを実施した。お 2 人には 7 月のファシリテート講座(んまつーぽす)に続いての参加となり、地元におけるファシリテーター育成の一步を踏み出せたと感じている。

また、今回は石原玉美氏の紹介によって当館としては初めて保育園でのアウトリーチを実施できた。園長先生の熱意のお陰もあり、こちらが驚くくらいの集中力をもって楽しそうにダンスする園児の姿がとても印象的だった。

羽黒小学校は昨年が続いての実施となり、打ち合わせなどはスムーズに行うことができた。29 日に実施した 6 年生が前日まで新型コロナウイルス感染症の影響で学級閉鎖となっていたことが気がかりだったが、当日は担任の先生を含め何名か欠席だったものの参加した児童たちは元気にダンスの時間を楽しんでいた。

また、今回は希望ホール(酒田市)と「Dance Connect Shonai」として旅費の折半や事業視察を行った。セレノグラフィカのお 2 人には鶴岡～酒田～鶴岡と移動が多く負担をかけてしまったが、酒田との連携を更に深めることができたことは今後の事業展開へのメリットとなったと感じている。

■事業の成果

保育園で初めてアウトリーチを実施したことによって園側のニーズを知ることができ、アウトリーチ以外での関わり方も検討していくきっかけとなった。地元アシスタントの活動も含め、より広がりのあるアウトリーチ事業を企画していきたい。

■事業の課題

初めは 28 日の午後も小学校でのアウトリーチを予定していたが、通信簿配布などでほとんどの学校が NG となりスケジュール調整が難航した。学校側の行事予定などを事前に聞き取ったうえで丁寧に調整する必要性を強く感じた。

アウトリーチの様子

【羽黒小学校 4年生】

【三瀬保育園】

【羽黒小学校 6年生】

Noism メンバーによる大人と子どものためのからだワークショップ 報告書

- 主 催 荘銀タクト鶴岡・鶴岡市教育委員会
- 助 成 一般財団法人地域創造
- 講 師 山田勇氣氏(Noism1 リハーサル監督/Noism0 メンバー)、樋浦瞳氏(Noism1 メンバー)
- 実施期間 2022 年 7 月 27 日(水)
- 実施場所 荘銀タクト鶴岡 小ホール
- 実施人数 7 組 14 名

■参加者の感想(抜粋)

子供と一緒に参加出来る事が何よりの宝になっています。普段手をつなぐ、ふれ合う事がとても温かいものを感じられました。色んな人とまた参加していきたいです！/いろいろなことをして体をうごかせてとても楽しかったです。こういった遊びができるとはじめて知りました。またやりたい、友だちにつたえたいと思いました。

■事業の成果

開始直後は参加者の緊張した雰囲気を感じていたが、講師のお 2 人のやわらかい口調の進行によってすぐにのびのびと楽しそうに身体を動かしていた。普段の遊びを発展させて身体を動かすことへの気づきを得るためのワークは、親と子ども(もしくはご近所の仲良し同士など)の 2 人 1 組での実施によって効果的にその成果を参加者に与えていたように思う。

■事業の課題

今回は子どもの対象を小学 1~3 年生に設定しており、講師はその年代に合わせてプログラムを組み立てていた。「対象ではないが参加できないか」といった問い合わせも数件あったことから、より多くの方が参加できるワークショップを講師と共にすり合わせながら企画・実施していく必要性を感じた。

第3回「タクト探検隊♪舞台のおしごと」 報告書

- 主 催 荘銀タクト鶴岡・鶴岡市教育委員会
- 協 力 劇団だいこん座
- 日 時 2022年8月7日(日) 13:30~15:30
- 場 所 大ホール
- 対 象 小学生とその保護者
- 内 容 普段は関係者以外立ち入ることのない劇場の裏側へ潜入し、子どもたちが公演を支える音響や、照明操作を体験する。今回は、鶴岡市で演劇活動を行っている「劇団だいこん座」さんに協力いただき、子どもたちがお芝居に照明や音響で演出する体験を行った。
- 参加料金 大人1人500円(小学生無料)
- 参加者数 子ども11名/大人8名 計19名

■参加者の感想(抜粋)

おもしろかった！／音の設定など楽しかった。／きかいをいっぱいさわられてよかったです！！／舞台の裏側の仕事を見れてとてもいい経験ができたと思います。／舞台上のあみあみの通路が怖かったです。／なかなか体験できないところをたくさん経験出来てよかったです！ありがとうございました！／おつるちゃんがかっこ良かったです。かみなりの音ははくりよくがあってびっくりしました。

■事業の成果

今回は親子で一緒に体験する内容だったため、お互いに助け合いながら楽しんで体験ができたのではないかと思います。実際の公演に近い形で照明・音響体験を行い、舞台のお仕事の大変さや楽しさを感じることができたと思う。また、コロナの影響で普段あまり見ることができない演劇を生で間近に見ることができ、演劇に対して親しみや関心を持つ機会となったと感じている。それから、タクト非公式キャラクター「おつるっちゃん」の初お披露目の場となったが、子どもたちからの反応も良く、今後の展開が期待できる。

■事業の課題

夏休みの自由研究として参加している親子も多く、毎回人気の企画となりつつある。ただ、「次世代の育成事業・地元運営スタッフの育成事業」として、もう少し年齢層の高い、中高生を対象としたより実践的な事業があっても良いと感じた。

【第1部 バックステージツアー&照明・音響体験】

【第2部 舞台を作ろう～演劇編～】 協力：劇団だいこん座

参加賞：スタッフ手作りメダル

小林紀子バレエ・シアター ワークショップ 報告書

- 主 催 有限会社小林バレエ事務所
- 日 時 2022年9月22日(木)
①16:00~16:40 (一般) / ②16:50~17:30 (高校生以下)
- 場 所 荘銀タクト鶴岡 小ホール
- 参加者数 一般12名/高校生以下26名 計38名
- 講 師 小林紀子バレエ・シアター 島添 亮子さん (プリンシパル)
高野 大希さん (若手男性ダンサー)
- 内 容 バレエの基礎を活かしたストレッチ、回転、表現の仕方、ステップ など

■参加者の感想(抜粋)

素敵な表現力を教えていただき大変楽しく過ごしました。/バレエ歴は無かったのですが、とても楽しかった。高貴な気持ちになりました。/見ていただけですが、説明もわかりやすく、こちらまで引き込まれました。子どものレッスンの様子を見れてうれしかったです。/プロの方にバレエの基礎を教えていただき貴重な体験となりました。

■事業の成果

国内外で活躍されているバレエ団のプリンシパルに直接ご指導いただいた貴重な機会となった。一般の部も高校生以下の部もバレエ経験のない方が参加されていましたが、講師の方が丁寧に指導してくださり、参加者は楽しくワークショップができたようだった。バレエ教室が減少している鶴岡で、バレエの楽しさを体感してもらうことができ、少しでも関心を持ってくれる人が増えることを願っている。

■事業の課題

思ったより、たくさんの方々が参加してくれたため、大ホール舞台上などもう少し広い空間で実施しても良かったと思った。

音楽のタベ ～あなたとクラゲと音楽と～ 運営協力 報告書

■主 催 鶴岡市立加茂水族館

■公演日（出演者） 5月22日（日） 風呂本 佳苗（ピアノ）
7月9日（土） アンサンブルだっちゃん（サクソ・トランペット・ピアノ）
8月1日（月） ジェイコブ・コーラー（ピアノ）
9月4日（日） 中西暁子 duo（トランペット・ピアノ）

■公演会場 鶴岡市立加茂水族館 クラゲドリームシアター前

■入場者数 各回 約50名

■協力内容 会場設営・撤収、お客様への案内誘導など(当館から2名派遣)

■事業の成果

今年度から「音楽のタベ」出演者の選定に当館が携わり、また公演当日の運営業務に協力している。アーティストとの打ち合わせや設営等、ホール以外での公演運営の面で毎回参考になることが多い。今後のアウトリーチ(学校での演奏会など)に活かしていきたい。

■事業の課題

加茂水族館の照明設備の関係で演出が簡素になりがちな印象を受けた為、持ち出し可能な当館の機材を使用し照明演出の効果を上げるような試みをしているが、今後もより良い公演になるようタクトならではの協力を検討していきたい。また、演奏会のライブ配信を行っている為、今後はタクトのエントランスでプロジェクターを使用した映像投影などを行い、両館の協力体制をより一層アピールしていきたい。

「TACT 市民アーティストガチャ」第 5 弾 報告書

■実施日 2022 年 7 月 24 日(日)~8 月 1 日(月)

※総販売数:150 個

■設置場所 エントランスホール(市役所側)

■料 金 1 回 500 円

■参加アーティスト(市民サポーター「アーティスト部門」)

小池雅人・BORZOI 石塚崇・lovfurniture
mao simmons・ケンタフライデイズ・五十嵐丈
田中耕太郎 Kotaro Tanaka・福濱美志保
Brillar/morigoya 守屋知子・さとう 凜



■事業の成果

販売初日(7/24)に、館内イベントが行われたこともあり、短期間での情報周知にも関わらず初日から大好評だった。SNS(主に Instagram)を活用した告知方法は、特に若い方々に大きな効果があったことが伺える。告知というアクションがフォロワー数の増加へも繋がったように感じている。「市民アーティストガチャ」の設置により、タクトになかなか来る機会がなかった方々(特に若い層)への PR が出来たと実感している。

■事業の課題

告知期間に余裕を持つことが大切だと考えられる。また、今後はアーティスト同士の交流を図る為にも、参加アーティスト全体の告知だけでなく、それぞれのアーティスト紹介にも力を入れていきたい。SNS だけでなく、幅広い年代の方に浸透を図るための方法を考えたい。
また、今回 500 円硬貨ではなく 100 円硬貨でも回せてしまったというトラブルがあった為、今後はガチャ本体の事前チェックを行ってから販売開始するよう心掛けたいと思う。

※過去の実績

【第1弾】2021 年 8 月 8 日~8 月 15 日 (総販売数:87個)

【第2弾】2021 年 9 月 28 日~10 月 5 日 (総販売数:90個)

【第3弾】2022 年 1 月 4 日~1 月 9 日 (総販売数:130個)

【第4弾】2022 年 3 月 5 日~3 月 10 日 (総販売数:150 個)

『TACT でもオールナイトカモスイ』

企画趣旨・目的

荘銀タクト鶴岡と加茂水族館の連携事業の一環として、加茂水族館がライブ配信しているクラゲの映像を荘銀タクト鶴岡のエントランスに投影する。鶴岡市の観光資源である加茂水族館やクラゲを広く周知するとともに、鶴岡市の施設が連携している取り組みを発信しイメージアップを図る。

企画内容

加茂水族館が毎週土曜日に YouTube にてライブ配信しているクラゲ動画「オールナイトカモスイ」を、荘銀タクト鶴岡のプロジェクター(小ホール備品)を使用し練習室前エントランスの壁面に投影する。

実施日程

毎週土曜日 18 時頃～翌朝 8 時頃

※エントランス(練習室前エリア)の利用がなく、小ホール備品のプロジェクターの貸出がない日の実施とする。

■事業の成果

鶴岡市の観光資源である加茂水族館のクラゲ映像のライブ配信をタクトにも投影することにより、市内施設の連携の取組みが発信できイメージアップを図ることが出来ているように感じている。最近では、外から写真を撮っている方の姿も見受けられるようになった。

■事業の課題

「オールナイトカモスイ」が毎週土曜日の実施であるため、土日に催事が入ることが多いタクトでは、催事によっては投影できない日もあるが、今年度からは公演終了後の退館するお客様の目に触れるよう、催事の日も出来るだけ実施するようにしている。実施回数を増やせるよう利用者との調整を図りながら進めていきたい。

荘銀タクト鶴岡(鶴岡市文化会館)
@tact_tsuruoka

今週も土曜の夜がやってきました！「TACTでもオールナイトカモスイ」実施しております👉今日のクラゲは傘のフチのすみれ色がおしゃれなバルモさんです👉
※閉館時間は入館できませんのでお気をつけください。

#加茂水族館 #オールナイトカモスイ



今週も「タクトでもオールナイトカモスイ」がやってきました♪今日はウリクラゲさんです👉キラキラきれいに光っていて、つい見とれてしまいます...👉
※閉館時間は入館できませんのでお気をつけください。

#加茂水族館 #オールナイトカモスイ



ロビーコンサート Vol.2 カノン春が来たコンサート 報告書

- 主催 荘銀タクト鶴岡・鶴岡市教育委員会
- 公演日時 2022年4月9日(土) 17:00開演
- 出演 小澤望氏(ソプラノ)、今野加世氏(ピアノ)
- 公演会場 荘銀タクト鶴岡 エントランスホール
- チケット料金 無料
- 入場者数 約60名(ライブ配信最大同時視聴者数14名)

■お客様の感想(抜粋)

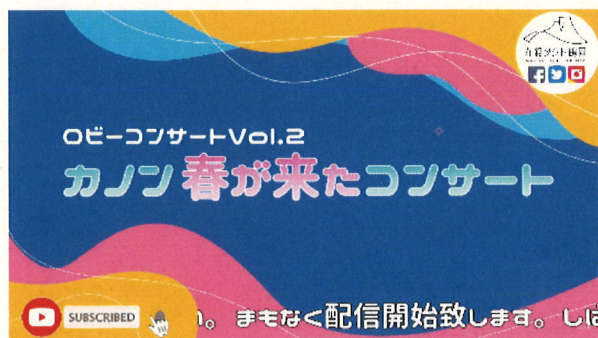
ステキなコンサートをありがとうございました。これからも市民アーティストの活動の場を楽しみにしています。／最高でした。次のコンサートわくわくして待ってます。次は少々有料でもよいのでは。／大ホールでのコンサート楽しみにしています。／すさんだ世界情勢、心が曇っていましたが、すき通った歌声を聞かせていただき、本当に心が明るくなりました。ありがとうございました。

■事業の成果

昨年8月に市内の感染拡大の影響で延期となった公演を改めて開催できた。依然として市内の感染者数が高い数値であるため、出演者からの声掛けは行わずチラシの配布も近隣施設にのみの限定的な配布となった。しかし予想に反して約60名の方が来場し、曲の中で一緒に振り付けを行うなど会場が一体となる公演となった。同時に行っていたライブ配信では14名程の方が視聴しており、出演者の方の東京の友人もライブ配信があったから公演を観ることができたと聞き、ライブ配信の有用性も感じ取ることが出来た。

■事業の課題

ロビーコンサートは2回目の開催であり、前回の開催時は来場者が約20名だった。今回の開催でも市内の感染拡大の影響で大々的な広報を行っていなかったため、足を運んでくださる方が少なくライブ配信主体の事業となると予想していたが、実際には約60名の来場があったため事前に用意していた座席数では足りなかった。年配の方が多かったため立ち見では難しいと判断し急遽椅子を設置して対応を行ったが、お客様同士の十分な距離が保てていない場所も見受けられたため、今後は感染症対策の面で余裕を持った計画を立てる必要があると感じた。



タクト 1day シネマ 『20歳のソウル』 関係者試写会 報告書

- 日 時 2022年8月22日(月) 13:30~16:00
- 会 場 荘銀タクト鶴岡 大ホール
- 参加者 羽黒高校 56名(吹奏楽部 39名/チアリーディング部 7名/美術部 10名)
鶴岡工業高校 吹奏楽部 13名 計69名
- 内 容 11/5 タクト 1day シネマで上映する映画『20歳のソウル』の関係者試写会。上映後に羽黒高校吹奏楽部、チア部、鶴岡工業高校吹奏楽部による演奏・演技、および演奏中に背景へ羽黒高校美術部に描いてもらった映画のイメージ絵を投影するため、事前に関係者のみの試写会を実施した。

■参加者の感想(抜粋)

大義さんの強さ、音楽へかける想いがとても伝わってくる映画でした。今日、観させていただくことができ本当に良かったです。11月のイベントへ向け、精一杯取り組ませていただきます。(羽黒吹奏楽部)／「20歳のソウル」は、公開された時からずっと気になっていたもので、このような機会で見ることができ良かったです。イベントでは、私たちのパフォーマンスで誰かの背中を押すことができるよう、また明日から一瞬一瞬を大切にしたいと思います。(羽黒チア部)／何度もがんに立ち向かう主人公は強い心を持っている方だと思いました。毎日生きられるだけで幸せだとはよく言いますが、この映画を観て改めて考えさせられました。(羽黒美術部)／音楽をやっている身として、「音」を出すことだけが音楽ではないことを改めて感じました。技術だけでなく、気持ちの面も大きく「音」として表れるということを学んだ気がします。(鶴岡吹奏楽部)／日々生徒たちと向き合っている中で、以前は当たり前には伝わっていたことが今はなかなか伝わりにくくなっています。しかし、今日の映画はストレートに部員たちのハートに伝わりそれぞれが心の底から感動することができたようです。(羽黒吹奏楽部顧問)／「20歳のソウル」を見て、まさに今部員たちに感じてほしい「今しかない時」を映画を通して感じることができました。(羽黒チア部顧問)

タクトライトアップ実施状況について

【春・新生活】

〈Facebook & Twitter Instagram 投稿文〉

もうすぐお花見の季節ですね🌸タクトのライトアップは春！新生活となりました。

併せてエントランス中央では「世界自閉症啓発デー」及び「発達障害啓発週間」として 4/8(金)までブルーライトアップも実施しております。2種類のライトアップをお楽しみください。

#ブルーライトアップ



【花火】

〈Twitter Instagram 投稿文〉

「花火」がテーマのライトアップをしております🎆今月末には3年振りに有観客での赤川花火大会が開催されます!! タクトで一足先に花火を楽しんでみてはいかがでしょうか？

#タクトライトアップ



■事業の成果

今ではすっかりタクトの名物となったライトアップだが、季節の風物詩だけでなく、自閉症啓発デーのブルーライトアップや臓器移植のグリーンライトアップ等、外部からの要請を受けたライトアップを行っており、新聞や SNS で取り上げられることが増えた為、それがタクトの周知に繋がっている。

■事業の課題

新しい模様のライトアップをするには、照明のネタを新しく購入する必要があるが、経費がかかるため同じネタを使用してスタッフの創意工夫でアレンジしている。しかし、毎年となるとマンネリ化してしまうと思われるため、経費をかけずにどのように継続していくかが今後の課題である。

Noism×鼓童『鬼』記者会見(中継) 報告書

- 日 時 2022年4月22日(土) 10:30 開始
- 会 場 現地：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 劇場ホワイエ
中継：荘銀タクト鶴岡 小ホール
- 登 壇 者 金森穰氏 (りゅーとぴあ舞踊部門芸術監督、Noism Company Niigata 芸術監督)
原田敬子氏 (作曲家)
石塚充氏 (太鼓芸能集団 鼓童)
- 参 加 者 10名 (メディア関係者、ダンス関係者、行政担当者)

■事業の成果

当館では初めての記者会見であったが、遠方での会見を中継することにより登壇者の声を効果的に参加者へ届けることができた。また市内のダンス関係者からも数名出席いただき、ダンス界隈での口コミによる更なる関心拡大が期待できる。

■事業の課題

メディア関係者について今回は新聞社のみでの出席であったため、テレビ・ラジオ関係へのアプローチが不足していた。今後は案内を送るだけでなく、直接足を運び説明を重ねて取材に来ていただけるような関係を築いていきたい。

会見中継(荘銀タクト鶴岡)

記者会見(新潟市りゅーとぴあ)

劇団四季ミュージカル『ロボット・イン・ザ・ガーデン』合同取材会 報告書

- 日 時 2022年5月13日（金）17:00 開始
【最終通し舞台稽古】13:00～ 【合同取材会】17:00～
※全国ツアー初日の会場で行われる最終通し舞台稽古への招待あり。
当館は合同取材会のみオンラインで参加。
- 会 場 現地：相模女子大学グリーンホール（相模原市文化会館）
中継：荘銀タクト鶴岡 会議室 2
- 登壇者 田邊真也氏（ベン役）・生形理菜氏（タング役）・渡邊寛中氏（タング役）
- 参加者 6名（荘内日报社、タクト職員）
- 内 容
全国ツアー公演スタートを目前に控えた最終通し舞台稽古を、各地の主催者・報道関係の方々に公開、合わせて出演俳優による合同取材会が行われた。当日はスチールカメラや VTR カメラでの撮影が可能な貴重な機会となり、当館も公開稽古終了後のオンライン合同取材会に参加した。合同取材会には、ベン役(1名)・タング役(2名)の俳優が登壇し、参加者の質問に答えた。その様子を荘銀タクト鶴岡 HP、SNS に公開した。

■実施日時 2022年5月 29日(日)

〈基礎編〉10:30~12:00 〈応用編〉13:30~15:00

■講 師 角屋 里子氏

■会 場 大ホール、エントランスホール 他

■参加者 午前 18名/午後 17名 参加人数 計 21名(内、通し参加 14名)

■アンケート結果集計(計 18人提出)

①研修はいかがでしたか

③自分の得意分野・苦手分野(複数回答)

大変難しかった 3人

難しかった 8人

ちょうどいい 7人

②今回の研修内容についてどう感じたか

大変満足 10人

ほぼ満足 6人

内容	得意	苦手
もぎり	9	
プログラム配布	9	
ホワイエ	6	1
客席案内	9	3
遅れ客対応	3	3
ダブルブッキング	0	3
ご注意の方法	2	1

■参加者の感想(抜粋)

初めての研修だったが、希望ホールの研修に比べても実践的でした。傘、杖、帽子や飲食への対応が明確でよかった。特に飲食や撮影に対しては、毅然とした態度や、多少の厳しさも必要だと学んだ。/とても大事な仕事で大変な仕事だと改めて思いました。/先生のお話しわかりやすかったです。/講義を聞いたただけだとなかなかその場で言葉が出てこないのを助かりました。/人前での声出しは良かったと思います。普段体験できないことで、勉強になりました。/市民サポーターとしての自覚を持つことができました。角屋先生の“サポーターはお客様に最初に合う人”という言葉が印象的で、笑顔での対応の大切さを実感しました。

その他事業

令和4年度全国公立文化協会定時総会・研究大会(山形大会) 「地域コミュニティ創造・再生事業企画提案コンペティション」表彰式 報告書

- 開催日程 2022年6月9日(木)～10日(金)
- 会場 山形県総合文化芸術館(やまぎん県民ホール)・山形テルサ
- 参加者 軍司 愛、伊藤 玲子
※全国の公立文化施設の関係職員、地方公共団体文化行政担当者、その他公立文化施設の事業及び運営に関心のある方が参加

■内 容

- ・施設の円滑な運営と積極的な活動、地域の文化芸術の振興を図るため全国の公立文化施設の関係者が一堂に会し、当面する諸課題について研究討議する。
- ・全国公立文化施設協会設立60周年記念『地域コミュニティ創造・再生事業企画提案コンペティション』表彰式

■所 感

コロナの感染状況が落ち着いてきたということもあり、全国の公立文化施設の関係職員が多く参加する貴重な機会となった。各分科会ではホール業界のスペシャリストたちが登壇し、全国のホールが抱える多種多様な問題への対応策を話し合った。様々な地域のホール運営、経営の実態を知ること、当館のような中小規模館が直面する課題が明るみとなり、今後の当館の運営について深く考える時間となった。また『地域コミュニティ創造・再生事業企画提案コンペティション』表彰式では、当館事業「TACT おとアート」が全国から多数の応募があった中から選出された3館のうちの1館ということで、またとない大変光栄な機会となった。全国の先進的な事例をこなす素晴らしい方々との出会い、そして公文協会長野村萬斎氏から表彰を直接受ける機会が与えられたことは今後の励みとなった。



小林紀子バレエ・シアター 意見交換会 報告書

- 主 催 有限会社小林バレエ事務所
- 日 時 2022年9月22日(木) 13:30~15:00
- 場 所 荘銀タクト鶴岡 小ホール
- 出席者 鶴岡市芸術文化協会 東山会長、小林副会長、柿崎副会長
(10名) 榊原事務局長、事務局 岡田さん
Kickin' Dance Fam 菊地 将晃さん
バレースクール サミュゼ 石原 玉美さん
(小林紀子バレエ・シアター)
制作部長 小林 健太さん、プリンシパル 島添 亮子さん
ダンサー 高野 大希さん
- 内 容
- ・幅広い世代での芸術文化の活性化
 - ・他分野との連携・課題を共有し競合から共創へ
 - ・地域文化振興を担う民間団体がさらに飛躍するために

■事業の成果

普段、芸術文化協会の会長や副会長と地域の文化芸術に対する想いを直接お話する機会が無かった為、今回の意見交換会はとても貴重な機会となった。また、県外で活躍されているバレエ団の方々との対話を通して地域を見つめ、長らく鶴岡に根づいてきた文化の灯を絶やさないように私たちにできることについて考えさせられた。

■事業の課題（意見交換会を通して感じた課題）

合併により統合が進んだ影響で、子どもたちが通学などで集落や地域の外に出る機会が増えた。それにより地域の人との繋がりも希薄となり、そこに根付いていた文化と接する機会も減ってきている。町や文化を衰退させないためにも、芸術文化協会で行っている「子ども文化クラブ」のような、地域と若者を繋ぐ環境づくりが必要だと感じた。文化会館として、旧市町村で市内まで交通手段のない子どもたち等に向けて、プロの演奏や演技の「ホンモノ」を生で体感してもらうアウトリーチ事業の重要性を改めて感じた。

フリースペース閉館時間お知らせ BGM 実施状況

【BGM を流すことのねらい】

閉館5分前をお知らせする音楽をフリースペースに流すことで、閉館時間になったら自然に(自主的に)退館してもらえるよう促すとともに、自分の演奏した音楽がフリースペースに流れることでタクトをより身近に感じてもらう。

【指定曲】

館で指定する以下の3曲から選択し、独自に演奏・録音したものを一般の方から募り選定(複数応募可)。

A: 蛍の光

B: 家路

C: 鶴岡市民歌

【選定方法】

タクト職員にて試聴。選定し採用者へ連絡。

記念品(タクトのクリアファイル、もしくはワンコインコンサートのチケット)贈呈。

【実施状況】

曲が流れ始めると、来館者は自然に身の回りの片付け始める様子。

【応募状況】

	名前	職業	曲	採用期間
1	滝沢 佳奈子 様	音楽教室講師	鶴岡市民歌	4/1~4 月末
2	時田 義之 様	会社員	家路	5/1~5 月末
3	時田 義之 様	会社員	蛍の光	6/1~6 月末
4	時田 義之 様 (再採用)	会社員	蛍の光	7/1~7 月末
5	滝沢 佳奈子 様	音楽教室講師	家路	8/1~8 月末
6	五十嶺 佑稀 様	学生	家路	9/1~9 月末
7	滝沢 佳奈子 様	音楽教室講師	家路(新作)	10/1~10 月末
8	櫛引中学校 吹奏楽部(8名)	部活動	3曲メドレー	11/1~11 月末

【PR 方法】

フリースペース入口付近・アートフォーラム側入口に、案内サインを掲示。

また、BGM が流れている様子を動画撮影し、公式 twitter・Facebook にアップロード。

荘銀タクト鶴岡 2022 年度
下半期の事業予定について

1. 鑑賞事業

- ・プレミアムクラシックス バレエ&オーケストラ 10月1日(土)
- ・ワンコインコンサート Vol.6 2台ピアノで奏でるピアノデュオコンサート 10月23日(日)
- ・親子で楽しむ音楽会 3月4日(土)
- ・山形交響楽団庄内定期演奏会 3月17日(金) 等

2. 育成事業

- ・リージョナルシアター(演劇のアウトリーチ)

3. 参加・体験事業

- ・ピアノリレーコンサート 12月24日(土)~25日(日)
- ・こどものための1dayアートプログラム(お絵描きWS) 1月11日(水)

4. 交流・にぎわい創出事業

- ・タクト1dayシネマ 11月5日(土)
- ・ロビーコンサート Vol.3・4・5 12月・1月・2月

5. 広報事業

- ・荘銀タクト鶴岡HP、Twitter、Facebook、YouTube、Instagram等での情報発信
- ・タクトしんぶんの発行

目次

令和5年度事業計画(案)

(1)基本方針	3
(2)事業概要	3
(3)管理運営体制	5
(4)運営状況	5
(5)自主事業	6

《参考資料》

鶴岡市文化会館管理運営基準	8
---------------	---

令和5年度

2023年4月～2024年3月

鶴岡市文化会館 事業計画書（案）



タクトつるおか共同企業体

令和4年10月

1. 基本方針

鶴岡市文化会館は、舞台芸術を中心とした市民の多様な文化活動を支え、未来の担い手を育み、芸術・文化性を高め、人々が集い、交流し、未来につなぐ文化芸術の拠点を目指すことを基本理念とし、活動の拠点として施設提供事業、育成の拠点として育成事業、創造の拠点として参加・体験事業、鑑賞の拠点として鑑賞事業、発信の拠点として地域発信事業、交流の拠点として交流・にぎわい創出事業を実施する。

共同企業体は、各々が有する専門性を生かし、相互に補完連携することにより、最適な管理運営を行い、鶴岡市の文化芸術のさらなる振興に寄与する。業務の遂行にあたっては、文化会館利活用会議の議論を踏まえ、法令遵守はもとより、施設管理の公正性、透明性の確保に努めるとともに、行政等との政策協働型、双方向型の施設運営を図る。

令和5年度は、指定管理5年間の中間年にあたり、また開館5周年を迎えることから、これまでの管理運営業務の円滑な継承を基本としながら、昨年度の鶴岡市文化会館運営委員会で提案された意見も踏まえ、専門性を生かした魅力ある事業や開館5周年記念事業を展開するとともに、より効率的な館の運営にスピード感をもって取り組む。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止については、引き続き市の対応方針に基づき、安全な鑑賞環境の提供等に努める。

2. 事業概要

鶴岡市文化会館管理運営実施計画の事業方針を踏まえ、全体のバランスを考え効果的に事業を実施する。具体的には、文化会館管理運営の6つの基本方針（活動・育成・創造・鑑賞・発信・交流の拠点）に基づき、次のとおり事業を実施する。

(1) 施設提供事業

市民の多様な文化芸術活動を支え活性化するとともに、文化芸術への創作意欲を高めるため、成果発表や練習、リハーサルなどでの施設利用を推進する。

- ・貸館業務の受付、利用者との連絡調整、事前打ち合わせ、当日事務など利用者への支援
- ・施設使用料、設備等使用料、冷暖房料、プレイガイドの収納業務
- ・ホームページ等による施設の空き状況や催し物等の情報提供
- ・施設見学者への対応、小学校等の校外学習への対応
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る市の対応方針に基づく安全な鑑賞環境等の提供

(2) 育成事業

文化芸術活動の次代を担う子供たちや新たな担い手の育成に向け、質の高い様々な文化芸術の鑑賞や体験の機会を提供する。また、市内の小中高生や芸術文化団体等の資質向上に向け、鑑賞事業と連携したプロの演奏家や指導者による講習会やワークショップ等を開催する。

- ・ダンスを活用したワークショップや小学校などでのアウトリーチの実施
- ・音楽を活用したワークショップや小学校などでのアウトリーチの実施
- ・プロの演奏家や指導者によるクリニックやワークショップ等の実施

(3) 参加・体験事業

開館5周年を記念し市民参加による山響との第九公演を開催するとともに、引き続き市民が参加し創り上げる市民参加型公演を実施する。また、タクトの施設を活用し子供から大人まで楽しめる体験事業を実施する。

- ・開館5周年記念「市民参加による第九公演」の開催
- ・「ピアノリレーコンサート」等の市民参加型公演の開催
- ・「タクト探検隊♪」等のバックステージツアーの実施

(4) 鑑賞事業

多くの市民が質の高い文化芸術に触れる機会を数多く提供するため、他館とも連携しながら国内外の様々なジャンルの優れた舞台芸術を鑑賞できる公演を招致する。公演には開館5周年の冠を活用し広くPRする。また、鶴岡市ゆかりのアーティストによる舞台芸術公演など、地域の人材や特性を活かしながら気軽に鑑賞できるような鶴岡ならではの公演を開催する。

- ・開館5周年記念公演の開催
- ・オーケストラなどによるクラシック公演の開催
- ・著名なプロのミュージカル公演の開催
- ・他館と連携し助成制度を活用した合唱やダンス公演の開催
- ・有名J-POPアーティストによるコンサートの開催
- ・鶴岡ゆかりの出演者によるワンコインコンサートの開催

(5) 地域発信事業

鶴岡の伝統文化の継承と次世代の担い手育成に向け、行政や継承団体等と連携しながら地域文化の発信に努める。また、地域で活動するアーティストや関連施設と連携し鶴岡の新たな魅力発信に繋がる事業を実施する。

- ・鶴岡市民俗芸能交流発表会の開催
- ・市民アーティストガチャの実施
- ・加茂水族館「音楽のタペ」「オールナイトカモスイ」との連携発信

(6) 交流・にぎわい創出事業

タクトの施設全体を使った多様なジャンルの公演や展示等、地域と連携した出会いや交流の機会に繋がるイベントや、タクトの建築物としての魅力を活かしたロビーコンサート等を実施する。また、季節を映すライトアップを継続して実施するなど、街のにぎわいの創出に寄与する。

- ・TACTおとアートの開催
- ・鶴岡まちなかキネマと連携した映画上映イベントの実施
- ・市民サポーターのアーティスト部門登録者によるロビーコンサート等の開催
- ・エントランスのライトアップやイルミネーション等の館内装飾や展示の実施

(7) その他

- ・市民サポーター制度の運営（公演サポート、フロントスタッフ研修会）
- ・市民への施設の周知や会館の自主事業、活動内容等の情報発信
（公式HP、Facebook、Twitter、Instagram、You tube 等による広報活動、パンフレット、チラシ、ポスター等の作成と配布、催し案内の毎月発行、タクトしんぶん年3回発行）
- ・職員のスキルアップに向け、専門家を招いた研修会の開催、先進館等の視察研修の実施

3. 管理運営体制

(1) 職員の配置と職務内容

部門	担当	職種・人数	職務の主な内容
総務	統括	事務長 1	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営全般の統括 施設の事業方針や企画、予算・決算等の市との調整 JV 運営調整会議の開催 シフト管理、視察対応 など
	経理・庶務	主任 1 主事 1	<ul style="list-style-type: none"> 人事・労務管理、法務、契約、文書管理、備品管理、経理会計（予算・決算・出納等）など
	施設管理	係長 1 (貸館兼務)	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理、建築・機械・電気設備等の日常運転、監視、保守点検 外部委託業務対応 施設内の警備、清掃 など
事業	統括	チーフ・マネージャ - 1	<ul style="list-style-type: none"> 各種事業の企画、運営の統括 事業に関する関係機関との連絡調整 企業、各種団体の助成、協賛金等の獲得 共催、後援、協賛先の開拓、促進 職員の研修、視察等の調整 など
	貸館	(係長 1) 主事 4	<ul style="list-style-type: none"> 貸館スケジュールの管理、利用調整 貸館システムの入力業務、管理 各種書類の利用者への発送 施設利用者へのアドバイス 舞台スタッフとの調整、舞台関係の打合せ 貸館に係るホームページの管理 チケット販売、施設貸出し等の窓口業務 など
	企画	主任 1 主事 3	<ul style="list-style-type: none"> 「鑑賞事業」「育成事業」「参加・体験事業」「交流・にぎわい創出事業」「地域発信事業」の企画立案、制作実施 各種事業に係る収支予算の作成、共催等の調整 各種事業に関する調査研究、情報収集 自主事業の各種広報、パンフレット等の作成 タクトしんぶん、ホームページ、SNS 等を活用した情報発信 市民サポーターの活用、運営管理 チラシ、ポスター、DM 等の作成、配布 館内ライトアップ等の実施 など
	舞台技術	委託 2	<ul style="list-style-type: none"> 舞台設備管理、舞台運営、音響・照明等の操作

4. 運営状況

(1) 年末年始休館

12月29日（金）～1月3日（水）

(2) 設備点検による臨時休館日

3月中旬1日間 高圧受電設備点検で全館停電となるため

(3) 休館日数 7日間

(4) 開館日数 358日間

5. 自主事業

○鑑賞事業

- 4月 ミュージカル (子供向け)
- 5月 クラシックコンサート① (ピアノ)
- 6月 J-pop コンサート① (男性ソロ)
- 7月 ダン活 (ダンス公演) ※地域創造
- 8月 クラシックコンサート② (山響定期公演)
- 8月 クラシックコンサート③ (有名指揮者&混声合唱団)
- 9月 J-pop コンサート② (男性グループ)
- 11月 落語公演
- 11月 ミュージカル (大人向け)
- 12月 クラシックコンサート④ (航空自衛隊) ※無料公演
- 1月 舞踊×音楽 ※自治総合センター
- 2月 J-pop コンサート③ (未定)
- 3月 おん活 (クラシック公演) ※地域創造
- 3月 公開収録番組
- 2回実施 ワンコインコンサート

○育成事業

- 12月 演奏指導 (航空自衛隊)
- 3月 音楽アウトリーチ (おん活) ※地域創造
- 5回実施 ダンスアウトリーチ ※文化庁芸術家派遣、自治総合センター

○参加・体験事業

- 7月 ダンスWS ※地域創造
- 10月 市民参加山響第九コンサート
- 12月 ピアノリレーコンサート
- 1回実施 バックステージツアー タクト探検隊♪

○交流・にぎわい創出事業

- 8月 TACTおとアート
- 2月 映画上映イベント (まちキネ連携)
- 2回実施 ロビーコンサート
- 4月～3月 館内ライトアップ・イルミネーション

○地域発信事業

- 11月 ダンス公演 (加茂水族館) ※自治総合センター
- 月 民俗芸能交流発表会
- 3回実施 市民アーティストガチャ

R5自主事業集計表(事業別)

No.	事業	開催	主催 共催	ジャンル	入場料	入場者 (見込み)	入場料 収入	手数料	助成金等	収入計	支出計	内公演料	差引	摘要
1	ミュージカル(子供向け)	4月	主催	ミュージカル	5,000	1,050	5,250,000			5,250,000	4,651,850	3,850,000	598,150	
2	クラシックコンサート① (リサイタル)	5月	共催	クラシック	7,500	800	0	200,000		200,000	50,000		150,000	
3	J-popコンサート① (男性ソロ)	6月	主催	J-pop	7,700	1,050	8,085,000			8,085,000	8,392,850	7,700,000	▲307,850	
4	ダン活(ダンス公演) ※地域創造	7月	主催	ダンス	1,500	100	150,000		500,000	650,000	889,350	495,000	▲239,350	地域創造500
5	クラシックコンサート② (山響定期公演)	8月	共催	クラシック	4,500	800	0	35,000		35,000	10,000		25,000	
6	クラシックコンサート③ (混声合唱)※宝くじ申請中	8月	主催	クラシック	4,000	800	3,200,000			3,200,000	3,934,150		▲734,150	宝くじ採択の場合、公演料負担無し
7	J-popコンサート② (男性グループ)	9月	共催	J-pop	5,000	800	0	200,000		200,000	50,000		150,000	
8	落語公演	11月	共催	落語	3,700	800	0	100,000		100,000	50,000		50,000	
9	ミュージカル(大人向け)	11月	共催	ミュージカル	7,500	1,050	0	300,000		300,000	50,000		250,000	
10	クラシックコンサート④ (航空自衛隊)※無料公演	12月	主催	クラシック	0	2,100	0			0	1,212,350		▲1,212,350	無料公演
11	舞踊×音楽 ※自治総合センター	1月	主催	舞踊×音楽	2,500	100	250,000		1,900,000	2,150,000	2,977,230	2,673,880	▲827,230	自治総合センター申請予定
12	J-popコンサート③ (未定)	2月	主催	J-pop	7,000	1,050	7,350,000			7,350,000	7,732,350	7,040,000	▲382,350	
13	おん活(クラシック公演) ※地域創造	3月	主催	クラシック	1,000	200	200,000			200,000	384,350		▲184,350	地域創造
14	公開収録番組	3月	主催	公開番組 (無料公演)	0	850	0			0	347,750		▲347,750	
15	ワンコインコンサート	2回 実施	主催	音楽	500	600	300,000			300,000	479,500	200,000	▲179,500	
①鑑賞事業 計					57,400	12,150	24,785,000	835,000	2,400,000	28,020,000	31,211,730	21,958,880	▲3,191,730	
1	演奏指導 (航空自衛隊)	12月	主催	吹奏楽	0	100	0			0	0		0	自衛隊公演に 合わせ実施
2	音楽アウトリーチ(おん活) ※地域創造	3月	主催	クラシック	0	100	0			0	0		0	おん活公演に 合わせ実施
3	ダンスアウトリーチ(小学校 等)※文化庁芸術家派遣	4回 実施	主催	アウトリーチ 事業	0	240	0			0	130,000		▲130,000	講師料等は文 化庁が負担
4	ダンスアウトリーチ(福祉施設 等)※自治総合センター	1回 実施	主催	アウトリーチ 事業	0	60	0	200,000		200,000	840,000	800,000	▲640,000	自治総合セン ター申請予定
②育成事業 計					0	500	0	0	200,000	200,000	970,000	800,000	▲170,000	
1	ダンスWS ※地域創造	7月	主催	参加・体験 型事業	500	20	10,000			10,000	0		10,000	ダン活公演に 合わせ実施
2	市民参加山響第九コンサート	10月	主催	市民参加型 事業	4,000	900	3,600,000		4,300,000	7,900,000	10,607,150	8,307,000	▲2,707,150	地域創造4,300
3	ピアノリレーコンサート	12月	主催	市民参加型 事業	500	100	50,000			50,000	322,750		▲272,750	
4	バックステージツアー	1回 実施	主催	参加・体験 型事業	500	20	10,000			10,000	10,000		0	
③参加・体験事業 計					5,500	1,040	3,670,000	0	4,300,000	7,970,000	10,939,900	8,307,000	▲2,969,900	
1	TACTIONとアート	8月	主催	交流・にぎわ い創出事業	0	200	0			0	571,000	300,000	▲571,000	
2	映画上映イベント (まちキネ連携)	2月	主催	映画	1,000	120	120,000			120,000	551,100	440,000	▲431,100	
3	ロビーコンサート	2回 実施	主催	交流・にぎわ い創出事業	0	100	0			0	125,000	100,000	▲125,000	
④交流・にぎわい創出事業 計					1,000	420	120,000	0	0	120,000	1,247,100	840,000	▲1,127,100	
1	ダンス公演(加茂水族館) ※自治総合センター	11月	主催	ダンス	0	50	0	400,000		400,000	550,000		▲150,000	
2	市民アーティストガチャ	3回 実施	主催	美術	500	450	225,000			225,000	230,000		▲5,000	
⑤地域発信事業 計					500	500	225,000	0	400,000	625,000	780,000	0	▲155,000	
合計						14,610	28,800,000	835,000	7,300,000	36,935,000	45,148,730	31,905,880	▲8,213,730	

※事業種別は①鑑賞事業、②育成事業、③参加・体験事業、④交流・にぎわい創出事業、⑤地域発信事業

※鑑賞事業等の「入場料収入」は、「入場者(見込み)」で試算(【共催】は除く)

※共催事業はチケット販売手数料と物販手数料を計上

※宝くじ文化公演が採択された場合、入場料は半額、チケット売上の50%が収入となる

※一部は、R4に歳入(チケット収入)あり

鶴岡市文化会館管理運営基準

第1. 管理運営の基本的な考え方

本施設は、本市の文化芸術の拠点として、音楽芸術、舞台芸術等を中心とした市民の多様な文化芸術活動の支援、未来の文化芸術の担い手の育成、優れた文化芸術の鑑賞機会の提供等を行うものである。本市の文化芸術の振興、交流の促進及びにぎわいの創出を図り、心豊かな生活及び活力ある地域社会の実現に寄与するため、以下の事項を遵守して管理運営を行うこと。

1. 関係法令及び条例の規定を遵守すること。
2. 施設及び備品の維持管理を適切に行うこと。
3. 業務に関連して取得した利用者等の個人に関する情報を適切に取り扱うこと。
4. 公の施設であることを常に念頭において、施設の利用に関し公平性を確保すること。
5. 利用者の意見を管理運営に反映させ、利用者の満足度を高めていくこと。
6. 予算の執行にあたっては、適正かつ効率的に運営すること。
7. 効率的な施設の管理運営を行い、経費の節減に努めること。
8. 近隣住民や関係機関との良好な関係を維持すること。
9. ごみの削減、省エネルギー等環境に配慮した運営を行うこと。

第2. 指定管理者が行う主な業務

1. 文化芸術等事業の実施に関する業務
2. 施設の使用許可、使用料の収納等の施設運営に関する業務
3. 施設の維持管理等の施設管理に関する業務
4. 前各号に掲げるもののほか、市長が特に認める業務

第3. 文化芸術等事業

鶴岡市文化会館管理運営計画、同実施計画で示した基本方針に沿った文化芸術の振興に寄与する以下の事業を行うこと。

文化芸術等事業については、市が設置する「鶴岡市文化会館運営委員会（仮称）」に長期計画、年度計画を示し承認を得た事業を行うこと。

1. 施設提供事業〈活動の拠点〉

市民の多様な文化芸術活動を支えさらに活性化するため、またさらなる文化芸術への創作意欲を高めるために、リハーサルや成果の発表の場として、大ホール等の施設を貸し出すこと。また、申込を受けた公演等の相談に対応するなど、助言・支援を行うこと。

2. 育成事業〈育成の拠点〉

本市のさらなる文化力向上に向けて、新たに文化芸術活動を行う市民を増やすために、次世代を担う子どもたちを育成していくための事業や、文化芸術活動を行う市民及びそれを支える人材を育成するための事業を実施すること。

3. 参加・体験事業《創造の拠点》

文化芸術活動を行っている個人や団体だけでなく、子どもや大人が楽しみながら体験でき、様々な世代の活発な創造の輪が広がるような作品創造や多様な文化芸術に触れられる機会の提供に係る事業を行うこと。

4. 鑑賞事業《鑑賞の拠点》

感動や生きる喜びをもたらし、感性の伸長による本市の文化芸術の向上を図るとともに、鑑賞を楽しむ層を広げ、日常生活への文化芸術の浸透を図るため、国内外の音楽、演劇、舞踊などの優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供に係る事業を行うこと。

5. 地域発信事業《発信の拠点》

地域ブランド力を高めるため、市民が鶴岡独自の魅力や新しい価値を見出しながら、外部に広く発信するなど、鶴岡の地域資源を発掘し地域文化等の発信に係る事業を行うこと。

6. 交流・にぎわい創出事業《交流の拠点》

市民、文化芸術団体、スタッフ、アーティスト等、多様な人々や様々な情報が集まり、出会いそしてつながり、そこから新たな文化や交流が生まれ、街のにぎわいへとつながる事業を行うこと。

第4. 施設運営

施設運営の基本的な考え方は次のとおりとする。市民や文化芸術団体、民間団体等へ施設を貸し出す「施設提供」と、館が主催・共催事業で利用する「事業利用」のバランスを考えながら、施設運営を行うこと。

- ・分かりやすい利用規定
- ・利用者の利便性を確保した安全・安心な施設
- ・市民の文化芸術活動への支援

1. 開館日等

(1) 開館日

年末年始（12月29日から1月3日まで）を除く日とする。ただし、市の承認を得て保守点検等により休館することができるものとする。

(2) 開館時間

午前9時から午後10時までとする。ただし、市の承認を得て催事の状況により短縮、延長できるものとする。

2. 使用許可等

(1) 施設の使用許可

条例、規則及び関係法令に基づき、施設の利用申請を受け付け、市が作成した「利用案内」等を参考に使用許可業務を行うこと。

また、使用許可申請に対する不許可などの不利益処分を実施する場合は、あらかじめ市と協議すること。

なお、「利用案内」を修正する必要がある場合は、あらかじめ市と協議すること。

(2) 受付順位

ア. 大ホールの本番を伴う使用

大ホールの本番を伴う使用の受付については、次の3段階に分けて行うこととし、付随して使用する施設を同時に受付できることとする。ただし、市、教育委員会が行う事業で市長が特に認めるものや館が行う事業については、この順位よりも優先して受け付けることができることとする。

芸術祭での利用については、市と協議の上、施設利用の調整を行うこと。

①優先受付

全国規模の催しなどは、先行受付の前に受付できることとする。ただし、可否の決定は、市が使用日の1年6か月前以降に行うこととする。

②先行受付

市民・市民団体が行う文化芸術及び公益性の高い催しの場合は、使用日の属する月の13か月前の月の15日に利用調整会議を実施し受け付けることができることとする。

③通常受付

先行受付以降の受付は、使用日の属する月の12か月前の月の1日から先着順（来館優先）で行うこととする。

イ. 大ホールの練習利用のみの使用

大ホールの練習利用での使用の受付については、次の2段階に分けて行うこととする。

①先行受付

市民・市民団体が行う文化芸術及び公益性の高い催しの場合は、使用日の属する月の7か月前の月の15日に利用調整会議を実施し受け付けることができることとする。（利用調整会議で調整が付かない場合は抽選で決める）

②通常受付

先行受付以降の受付は、使用日の属する月の6か月前の月の1日から先着順（来館優先）で行うこととする。

ウ. 小ホール・練習室・会議室・託児室

小ホール・練習室・会議室・託児室の使用の受付については、使用日の属する月の3か月前の月の1日から（先行・通常受付ともに）先着順（来館優先）で行うこととする。

3. 使用料等の収納に関する事項

- ・市が地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第158条第1項の規定に基

づき、告示した者を上記収納事務の取り扱い者とする。

- ・ 収納した金銭（以下「収納金」という。）は明確に経理し、すみやかに市の指定する金融機関に振り込む。
- ・ 収納金は他の目的のため流用してはならない。
- ・ 保管中の収納金から生じた利子は市に帰属する。

①使用料

- ・ 施設使用料及び設備使用料は市の収入とする。
- ・ 条例及び規則に定められた施設使用料及び設備使用料を徴収する。

4. 舞台操作業務

使用者の求めに応じ、適切な助言を行うとともに舞台機構・舞台照明・舞台音響の各設備等の操作を行い、優れた舞台づくりを行う。

- (1) ホールの利用がある日は、原則、舞台技術者1名、舞台照明技術者1名、舞台音響技術者1名の計3名を配置すること。
- (2) ホールの利用がない日又は保守点検日等は、技術者1名以上を配置すること。
- (3) 舞台音響技術者は、舞台機構調整（音響機構調整作業）技能士2級以上、舞台照明技術者は、(公社)日本照明家協会認定舞台テレビジョン照明技術者技能士2級以上の技能認定合格者とする。
- (4) 催しの内容によって業務遂行上必要があるときは、増員等の措置を講ずること。
- (5) ホール使用のための搬入、仕込み、本番、撤去等を通して補助及び管理、監督業務を行うこと。

第5. 施設管理

1. 施設の保守管理業務

(1) 施設又は設備等の保全

施設を安全かつ安心して利用できるよう施設の予防保全に努めること。建築物や設備等の不具合を発見した際には、速やかに報告すること。

指定管理者及び利用者の責めに負わない修繕は、原則、1件10万円以上（消費税及び地方消費税を除く。）のものについては市が行うこととし、原則、1件10万円未満（消費税及び地方消費税を除く。）のものについては指定管理者が行うこととする。なお、原則により難しい場合は、協議のうえ決定することとする。

(2) 施設又は設備等の保守管理

関係法令を遵守し、施設又は設備等の日常点検・定期点検、法定点検等を行い、常に良好な状態及び性能を維持すること。

- ①電気設備
- ②空気調和設備
- ③給排水衛生・ガス設備
- ④消防設備
- ⑤昇降機設備
- ⑥自動ドア設備

- ⑦舞台機構設備
- ⑧舞台照明設備
- ⑨舞台音響設備

(3) 外構（植栽を含む）等の保守管理

建物に附属し、敷地内に設けられている外構（植栽を含む）等の維持を行うこと。
また、違法（迷惑）駐車・駐輪を含め施設使用者の妨げにならないように管理を行うこと。

(4) 備品等の保守管理

施設の運営に支障をきたさないよう、使用状況や耐用年数等の把握を含め、備品及び消耗品を管理すること。

また、施設使用者が施設のピアノを常に良好な状態で使用することができるように定期点検等の保守管理を行うこと。ピアノの状態や使用状況に応じて、適切な点検間隔を設定すること。なお、公演等においては、必要に応じて主催者が調律を行うものとする。

また、施設内のAEDを適切に管理し、消耗品や本体の定期更新を行うとともに職員の操作研修を行うこと。

2. 清掃業務

施設的环境を維持し、快適な環境を保つため、使用者への後片付け清掃等の指導を行うとともに、適切な頻度で清掃を行うこと。また、ごみ処理について使用者に指導を行うとともに、適切に管理・処理を行うこと。

3. 日常運転管理業務

使用者及び来館者が快適な環境で使用できるよう電気、空調、給排水、衛生設備の運転管理を行うこと。

4. 環境衛生管理業務

建物内を環境衛生上良好な状態に維持するため、環境衛生関係法令に基づき必要な衛生管理業務を実施すること。

5. 警備業務

施設内の秩序を維持し、事故、盗難・破損等の犯罪及び火災等の災害の発生を警戒・防止し、財産の保全を図るとともに使用者の安全を守るために警備業務を適切に行うこと。

- ・館内の巡回
- ・事故、犯罪、災害等から施設利用者を適切に保安できる状態とする。
- ・施設利用者の入退出等を適切に管理できる状態とする。
- ・夜間機械警備業務

第6. 職員の配置

指定管理者は、本施設において安定的な管理運営業務を維持するため、必要な人員及び勤務形態を採ることとする。また、勤務する職員を市に届け許可を得ることとし、変更した場合も同様とする。

第7. 安全管理

指定管理者は、防火管理者を選任し消防計画を作成して的確に対応することとする。緊急時の対応及び防犯・防火対策について、緊急時対応マニュアルを作成し、災害等緊急時の利用者の避難、誘導、安全確保等及び必要な通報等について、的確に対応できる様に職員を指導すること。緊急事態の発生時には、的確に対応すること。

第8. 管理に要する経費

管理運営に関する経費は、市から指定管理者へ予算の範囲内で委託料として支払う。業務の全部又は主たる部分を一括して第三者に請負わせることはできない。ただし、その業務が専門技術を要する等これにより難しい場合は市の承認を得て当該事業を的確に遂行する能力を有する者に委託することができる。この場合、再委託の理由を明らかにした書類及び再委託契約書の案を市に提出しなければならない。これを変更しようとするときも同様とする。なお、光熱水費は市が負担する。

第9. 管理運営報告

1. 管理運営報告書の作成

指定管理者は、以下の業務報告書を作成し市に提出すること。

- ①毎月15日までに前月の利用状況及び使用料収入等の状況を記載した報告書
- ②毎年度終了後30日以内に管理する業務の実施状況及び利用状況、経費の収支状況を記載した報告書

2. 業務報告の聴取等

市長は、管理の適正を期するため管理の業務又は経理の状況について、定期又は臨時に報告を求め、実地に調査し、必要な指示をすることができる。

第10. 業務評価

指定管理者から提出される報告書並びに自己評価及び行政評価により、市は業務評価を実施し検証する。

1. 自己評価

業務の質とサービスの向上を図ることを目的に、利用者等の施設運営に関する満足度及び意見を聴取して、定期的な自己評価を実施すること。なお、年度を通しての自己評価を実施し、評価書を毎年度5月末までに市に提出すること。

2. 行政評価

市は、指定管理者が提供したサービスの水準が業務の基準を満たすものであるか確認するため、行政評価を実施する。

第 11. 指定期間終了にあたっての業務

1. 業務の引継

指定期間終了時には、次期指定管理者が円滑かつ支障なく業務を遂行できるよう引継を行うこと。

2. 原状回復

指定管理者は、指定期間が終了したとき、指定が取り消されたとき若しくは業務の停止を命ぜられたときは、施設又は設備を原状に回復しなければならない。

3. 備品及び文書等の取扱い

備品及び文書等は次のとおり取り扱うこととする。

(1) 市に帰属する備品等については、市又は市が指定するものに引き渡すこと。

(2) 指定管理者に帰属する備品等については、原則として指定管理者の責任と費用において撤収すること。ただし、市との協議において両者が合意した場合は、市又は市が指定するものに引き渡すことができることとする。

(3) 業務に必要な文書等（電子データ含む。）を市又は市が指定するものに引き渡すこと。

第 12. 留意事項

1. 指定管理者が行う事前準備

指定管理者は、前述の業務を行うにあたり必要な職員採用、職員の研修、物品購入等事前に準備すること。

2. 個人情報の保護

指定管理者は、施設を管理するにあたって知り得た個人情報については、個人の権益を侵害することのないよう個人情報の取り扱いを適正に行うこと。詳細は別記「個人情報取扱特記事項」を参照のこと。

3. 目的外使用の禁止

施設本来の目的外に使用する場合は行政財産の使用許可申請により許可を得ること。

4. 指定の取消し等

市長は、指定管理者が市長の指示に従わないとき、指定管理者の責めに帰すべき事由で管理を継続できないとき、管理の業務に関し知りえた個人情報の取扱い義務に反したとき、その他不適切な行為が認められるときは、指定を取消し、又は業務の停止を命ずることができる。

5. 損害賠償

指定管理者は、故意又は過失により施設又は設備を損傷又は滅失したときは、それによって生じた損害を市に賠償しなければならない。

6. 協定

管理実施細目・委託料等について、毎年度協定書を取り交わすものとする。

7. その他

- ・施設の維持管理及び事業の実施にあたり必要な官公署等への諸届を必要とする場合には、指定管理者が手続きを行うものとする。
- ・施設の敷地内に喫煙場所は設けない。